

平成 19 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成 18 年 7 月 21 日

会社名 株式会社カンセキ

(J A S D A Q ・ コード番号 : 9 9 0 3)

(URL <http://www.kanseki.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 服部 吉雄

責任者役職・氏名 執行役員 経理部長 高橋 利明 TEL : (028) 659 - 3112

1 . 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) たな卸資産については、実地たな卸を省略しております。

その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。

最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容) 当第 1 四半期から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成 14 年 8 月 9 日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成 15 年 10 月 31 日 企業会計基準適用指針第 6 号)を適用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2 . 平成 19 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 5 月 31 日)

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 2 月期第 1 四半期	7,950	(1.8)	147	()	8	()	300	()
18 年 2 月期第 1 四半期	8,096	(0.3)	()	()	()	()	()	()
(参考)18 年 2 月期	31,690		647		88		51	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 2 月期第 1 四半期	19 94	
18 年 2 月期第 1 四半期		
(参考)18 年 2 月期	3 40	

(注) 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。売上高以外の項目につきましては、当四半期より開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率は()としております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 5 月 31 日) は、原油価格の高騰や金利上昇などの懸念材料はあるものの、企業収益の改善、雇用情勢の好転、設備投資の増加が引続きみられ、回復基調にあります。しかし、地域経済の回復は依然として鈍く、個人消費回復の手応えが感じられないまま推移しております。また、天候不順や競争の激化等の影響もあり、当社を取巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。このような中、当社は「収益力の向上」「財務体質の改善」「規模拡大に向けた体制作り」を目指しております。

当社における当第 1 四半期は天候の影響により季節商品に影響が見られましたが、ホームセンター事業は、以前より注力してまいりました利益率の向上により利益計画に対し順調に推移しております。WILD - 1 事業は、会員向けカードの WILD - 1 カードに(株)JCB との提携による提携カードを 4 月に発行しお客様の利便性を高めるとともに、WILD - 1 トラベルサービスによる様々なイベントツアーを提案しお客様の固定化に注力いたしました。業務スーパー事業は高品質、かつ毎日が低価格をコンセプトにお客様へ冷凍食材を中心に提供しております。当社の栃木県内におけるドミナント化の重要な戦略業態として順調に成長しております。リユース・リサイクル事業であるオフハウス事業につきましては、平成 18 年 3 月に 7 店舗目のオフハウス黒磯店を開店いたしました。開店後着実に売上を伸ばしております。

その結果、売上高は7,950百万円(前年同四半期比1.8%減)、経常利益は8百万円、当期より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用することに伴い293百万円の減損損失を特別損失に計上したことにより四半期純損失300百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	百万円	円 銭
19年2月期第1四半期	30,362	4,098	13.5	272 30
18年2月期第1四半期				
(参考)18年2月期	30,781	4,450	14.5	295 18

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年2月期第1四半期	740	36	1,101	553
18年2月期第1四半期				
(参考)18年2月期	633	165	592	952

【財政状況の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期における総資産は30,362百万円となり、前事業年度末と比べ419百万円の減少となりました。これは主に、たな卸資産が261百万円増加しましたが、現金及び預金が398百万円減少したことと、減価償却及び減損損失の計上等により有形固定資産が308百万円減少したためであります。

負債は26,263百万円となり、前事業年度末と比べ68百万円の減少となりました。これは主に仕入債務が898百万円増加しましたが借入金の返済により1,034百万円減少したためであります。

純資産は4,098百万円となり前事業年度末と比べ351百万円の減少となりました。これは主に減損損失計上に伴う四半期純損失300百万円及び期末利益配当金の支払によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ398百万円減少して553百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、740百万円となりました。

これは主に仕入債務の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、36百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出62百万円でありますが、保証金・敷金の払戻による収入93百万円及び預り保証金・敷金の払戻による支出46百万円との相殺後の純額であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,101百万円となりました。

これは主に借入金の返済によるものであります。

添付資料

(要約) 四半期貸借対照表

(要約) 四半期損益計算書 など

[参考]

19年2月期の業績予想(平成18年3月1日~平成19年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	17,100	280	143
通期	32,400	180	243

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 16円14銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。
実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合があります。

以上

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期	(参考)
	平成19年2月期第1四半期	平成18年2月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
1.現金及び預金	616,358	1,014,875
2.売掛金	212,120	133,919
3.たな卸資産	6,160,958	5,899,372
4.その他の流動資産	741,328	692,257
流動資産合計	7,730,766	7,740,424
固定資産		
1.有形固定資産	17,039,669	17,347,911
2.無形固定資産	703,884	716,023
3.投資その他の資産	4,876,733	4,963,982
固定資産合計	22,620,287	23,027,917
繰延資産	11,189	13,494
資産合計	30,362,243	30,781,836
(負債の部)		
流動負債		
1.支払手形	1,957,372	1,506,569
2.買掛金	2,360,380	1,913,101
3.短期借入金	6,953,285	7,682,343
4.一年内償還予定の社債	106,000	106,000
5.その他の流動負債	564,963	458,254
流動負債合計	11,942,002	11,666,267
固定負債		
1.社債	424,000	449,000
2.長期借入金	12,035,568	12,341,186
3.その他	1,861,804	1,875,279
固定負債合計	14,321,372	14,665,465
負債合計	26,263,374	26,331,732
(純資産の部)		
株主資本	4,067,501	
評価・換算差額等	31,366	
純資産合計	4,098,868	
負債・純資産合計	30,362,243	
(資本の部)		
資本金		1,926,000
資本剰余金		1,864,000
利益剰余金		802,793
その他有価証券評価差額金		39,955
自己株式		182,645
資本合計		4,450,103
負債・資本合計		30,781,836

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	当四半期 (平成19年2月期第1四半期)	(参考) 平成18年2月期
	金額	金額
売上高	7,950,592	31,690,967
売上原価	5,817,702	23,316,926
売上総利益	2,132,889	8,374,040
営業収入	350,294	1,408,267
営業総利益	2,483,183	9,782,307
販売費及び一般管理費	2,335,997	9,134,845
営業利益	147,186	647,462
営業外収益	4,362	43,578
営業外費用	143,424	602,628
経常利益	8,124	88,411
特別利益		42,065
特別損失	298,214	48,252
税金等調整前四半期純損失()又は 税金等調整前当期純利益	290,090	82,225
税金費用	10,272	30,794
四半期純損失()又は当期純利益	300,362	51,430

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

3. (要約) 四半期要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当四半期 (平成19年2月期第1四半期)	(参考) 平成18年2月期
区 分	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税引前四半期純損失()又は 税引前当期純利益	290,090	82,225
2. 減価償却費	114,807	520,192
3. 減損損失	293,015	
4. 支払利息	140,596	589,967
5. たな卸資産の増加額	261,586	70,718
6. 仕入債務の増加額(減少額)	898,083	71,115
7. その他	5,607	174,533
小 計	889,218	1,225,085
8. 利息の支払額	137,263	582,350
9. その他	11,523	9,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	740,431	633,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 有形固定資産の取得による支出	62,402	409,565
2. 保証金・敷金の取得による支出	1,015	77,141
3. 保証金・敷金の回収による収入	93,710	394,791
4. 預り保証金・敷金の払戻による支出	46,136	63,612
5. 預り保証金・敷金の取得による収入	2,660	25,228
6. その他	23,803	35,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,988	165,566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純減少額	676,500	2,459,175
2. 長期借入れによる収入		2,890,000
3. 長期借入金の返済による支出	358,176	1,213,156
4. 社債の発行による収入		262,175
5. 社債の償還による支出	25,000	56,000
6. 自己株式の取得による支出	4,594	15,936
7. 配当金の支払額	37,690	
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,101,960	592,092
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の減少額	398,516	124,524
現金及び現金同等物の期首残高	952,369	1,076,894
現金及び現金同等物の期末残高	553,853	952,369

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。